



経歴

平成15年 4月	総務省採用
平成15年 8月	同 情報通信政策局技術政策課
平成17年 8月	同 大臣官房総務課
平成18年 8月	経済産業省産業技術環境局国際係長 (OECD 担当)
平成20年 7月	総務省総合通信基盤局電波部移動通信システム開発係長
平成21年 7月	藤沢市市長室産業戦略担当参事
平成23年 4月	同 市長室産業戦略担当部長
平成24年 8月	総務省総合通信基盤局電気通信事業部事業政策課課長補佐
平成25年 7月	現職

人と社会は好きですか？

総合通信基盤局電気通信事業部データ通信課課長補佐

西室 洋介

Yosuke Nishimuro

人ってなんだろう？ (就職のきっかけ)

私が総務省に入ったきっかけは「人の感性に挑戦したかった」からです。こう言うと色んな人に「？？？」という顔をされるかもしれませんが。

「人の感性」というと映像、音楽などの芸術に関わることを想像するのが一般的なもので、「人の感性」というキーワードでこの仕事を選ぶ人が少なくても不思議ではない気がします。でも、公務員の仕事が世間の感覚と全くずれていたら？ Aという社会をみんな望んでいるのに、Bという社会に向かって政策を作っていたらそれはプーイングの嵐でしょう。

特に総務省は郵便、電話、インターネットに関わる仕事をしています。これらを最終的に使うのは人です。総務省がインターネットのあるサービスを推しても、最終的に使う人や会社にそっぽを向かれたら、そのサービスは全く流行らないでしょう。そっぽを向かれた政策は「失敗」となってしまいます。

そのような訳で私は日々、「感性」に挑戦しています。「今より嬉しいと感じる社会は何か」「今よりワクワクする社会は何か」、今風に言えば「ユーザエクスペリエンス」という言い方なのかもしれません。世の中のエクスペリエンスの向上のため、「人間ってなんだろう？」「社会ってなんだろう？」を日々考えています。

「インターネット」って何？ (現在の仕事)

現在私はデータ通信課というところでインターネットがどうあるべきか」というものを考えています。そのためには「インターネ

ットは何で、どういう構成要素で、どういうプレイヤーが動いているか」を知らなくてはなりません。

さらにインターネットの状況(プレイヤー、技術、標準など)は日々変わり、新しい芽もどんどん出てきますので、「何ですかね、コレ？」「うーん、分かんないねえ。」「あ、こういうことですよ、コレ！」とか周りと言い合いながらマジメに刺激的に仕事しています。

「20年後にどうなっていると嬉しいと思う？」というのが最近の個人的空想ネタなのですが、正直インターネットを巡る環境がどうなっているかは分かりません。全く新しいシステムが動いている気もします。でも「人と人を繋ぐ」「人生をちょっと幸せにする」というのは人間の根本的欲求なので、その役割は残っているのでしょう。

公務員になって何が良かった？ (仕事への愛情)

公務員になって良かったことの1つは「色々な人に話が聞ける」です。

私は技術者でも会社経営者でもありません。営業として会社を回っている訳でもありません。そうなると何かが起きている現場を知るには、知っている人に聞くしかありません。こうして、必然的に社外の人に会います。すなわち、色々な人に会えます。色々な人に会って色々な事を知れるのは幸せなことだと

思っています。(しかも仕事としてお金を貰いながら。)

さらに、(私や他の職員の経歴を見て頂くと分かりますが)所属の課が2~3年おきに変わります。そのため、その度に色々な勉強が出来るという特典も付いてきます。

真っすぐに目指している人も、 悩んでいる人も。 (就職を考えている皆様へ)

こんな事をここに書いて良いのかは分かりませんが、仕事が人生の全部かと言われるばそうではありません。

人生には、職業だけでなく色々考える事はありますし、正解も1つではありません。就職を考えるにあたって、真っ直ぐになりたい物がある人もいますし、悩んでいる人もいますし、悩むことは不思議ではありません。就職は人生の中で大きな事だとも言えますし、小さい事だと言うことも出来ます。とらえ方、考え方は本当に人それぞれだと思います。「就職」とは、ということを自分で考え、自分に合うと思える職業を見つけられるようがんばってください。

そして、総務省が気になれば、もしくは、あなたの職業観に合いそうなら、電話でもOB訪問でも何でも良いです、何か私たちにに向けてアクションを起こしてみませんか？



打合せ中の筆者

経歴

平成16年4月	総務省採用
	同 情報通信政策局宇宙通信政策課
平成18年8月	同 情報通信国際戦略局技術政策課 研究推進室国際研究係長
平成20年7月	同 総合通信基盤局電波部移動通信課 国際係長
平成22年7月	内閣府行政刷新会議規制・制度改革 担当事務局参事官補佐
平成24年6月	現職

在シドニー日本国総領事館領事

大塚 恵理

Eri Otsuka

経歴

平成17年 4月	総務省採用
	同 情報通信政策局通信規格課
平成19年 7月	文部科学省研究開発局 参事官(宇宙航空政策担当) 付
平成21年 7月	総務省総合通信基盤局電気通信事業部 データ通信課専門職
平成23年 10月	(産休・育休取得)
平成25年 4月	同 総合通信基盤局電波部 電波政策課専門職
平成25年 7月	現職

外務省国際協力局国別開発協力第二課課長補佐

網野 尚子

Naoko Amino

みなさんは、オーストラリアと日本の間に百年を超える友好の歴史がある事をご存知ですか。成熟した友好関係をICT(情報通信技術)分野でも深めていくことが、私の今の仕事です。私は現在、外務省に出向し、オーストラリアの在シドニー日本国総領事館に勤務しています。急速に広がるインターネットや携帯電話の利用に国境は無く、グローバルな市場環境の構築やサイバーセキュリティといったICT分野の政策課題は各国共通の部分が多くあります。こうしたICTに関する課題解決に向けた日豪両政府の協力関係を構築していくため、オーストラリア政府との間の連絡・調整等を行っています。

総務省では、ICT分野で国際社会への貢献を進めるべくICTの国際展開を積極的に進めています。ICTを、資源、医療・介護、防災、農業、労働といった様々な分野に活用することで、解決が困難であった課題への対応、効率的なシステムの実現、新たなサービスの創出が可能となります。資源や農業分野の産業

が活発なオーストラリアでは、センサー、ビッグデータ、地理空間情報等のICT技術の活用が期待されています。日本が持つ高い技術力、きめ細やかなサービスを、オーストラリアでどのように活かせるか、日本の更なる国際展開に向けて政府機関や市場の動向を追いかけています。

オーストラリアは、近年は多文化主義を推進し、毎年多くの移民を受け入れ人口の約30%弱が外国人というコスモポリタン国家です。エネルギー供給国に加え、過去20年以上連続した経済成長を続けており、こうした点を背景に多様で寛容な国民性を持つ人が多い印象を持っています。海外に勤務して、こうした異なる価値観や国民性に触れる事は、新たな視点、経験を積む貴重な機会となっています。総務省は、変化の激しいICTの分野にあって、国際的にも活躍することが可能な場です。グローバルな視点が求められるICT分野で活躍したい方、皆さんと一緒に働ける日を楽しみにしています。

国と国との絆の強化に向けて

10年後、情報通信技術はどのような発展を遂げ、皆さんはどのような仕事や生活をしているでしょうか。ちょうど10年前、私は就職活動をしていましたが、その時、今の仕事や生活はまったく想像できていませんでした。しかしただひとつ言えることは、想像していたよりもはるかに充実しているということです。

10年前、「日本」というスケールで、発展著しい情報通信技術分野で仕事することに魅力を感じ、直感的に総務省を志望しました。入省以来、総務省では情報通信技術の国際標準化、インターネットドメイン名やIPアドレス政策などを担当しました。国際会議に日本の代表として出席する機会も多く、緊張することも多々ですが、日本はどのようなスタンスをとっていくべきか、内外の状況に合わせて考え、調整し、発信していくことは、非常にやりがいもあります。

また、文部科学省では宇宙政策、現在は外務省で中南米のODAを担当し、情報通信技術とは離れた分野にも携わっています。外務省で

は、関わっている種々のプロジェクトにより、被援助国の人々が笑顔になることが実感でき、また違うやりがいを感じます。また、総務省とは違う視点から今の「日本」の状況や立場を知ることができ、情報通信技術分野だけに偏らない経験ができる機会は大変貴重です。

ところで、私は、現在2歳の娘がいるのですが、育児休業をしっかりとらせていただき、その間は十分に娘に向き合う時間がとれました。復帰後も保育園のお迎えのため残業ができない状況を考慮していただき、仕事と育児の両立ができています。出産し、復帰するまでは不安もありましたが、仕事も育児もどちらも充実した生活が送れています。

10年前、自分に娘がいることもこのような仕事をしていることも想像できていませんでしたが、仕事も生活も総じて、想像よりはるかに充実しており、10年前の直観は正しかったなと感じています。

10年後のあなたに広がる世界は？